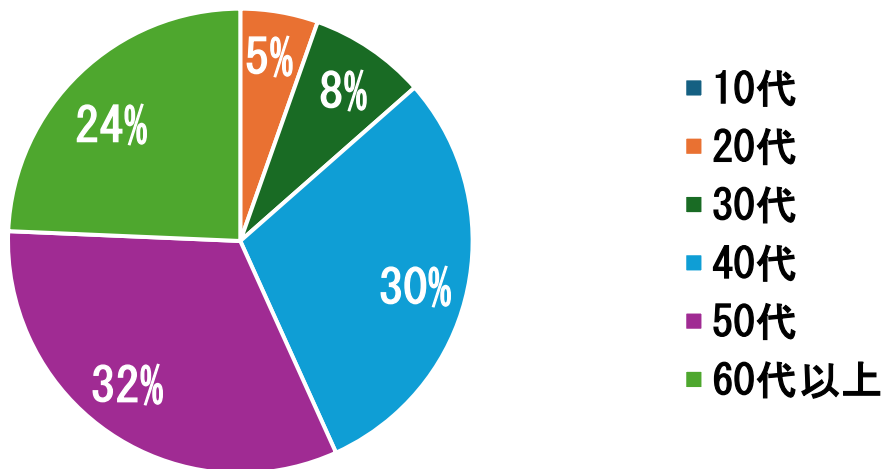
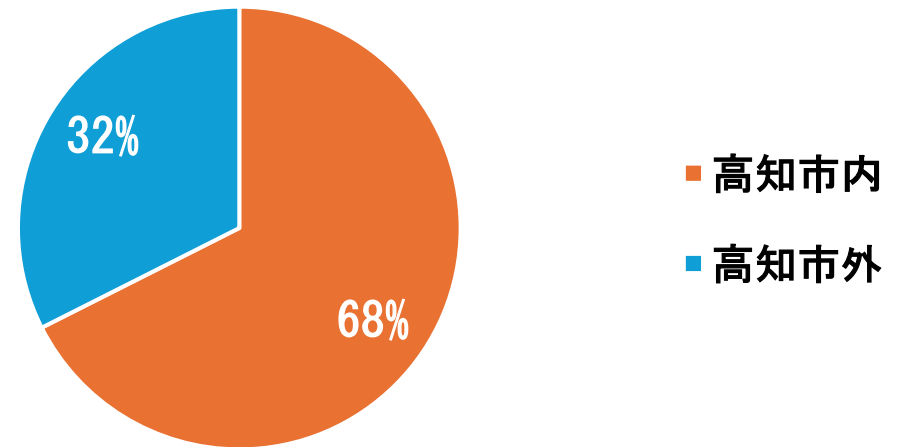


【第3部】 日常の中で育てる“生き抜く力”

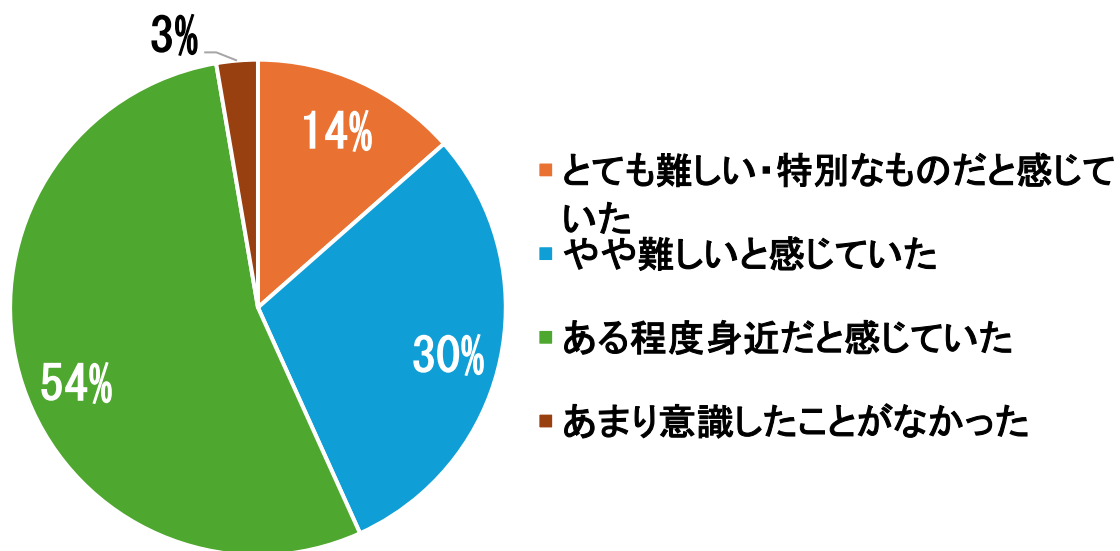
1. あなたの年代を教えてください。



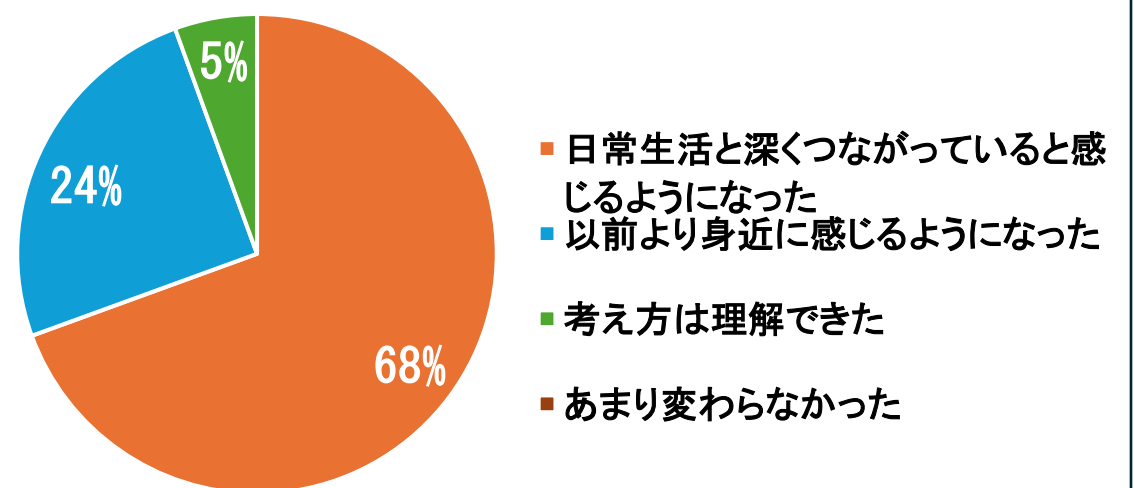
2. お住まいの地域を教えてください。



3. 講座を受講する前、「防災」に対してどのような印象を持っていたか？

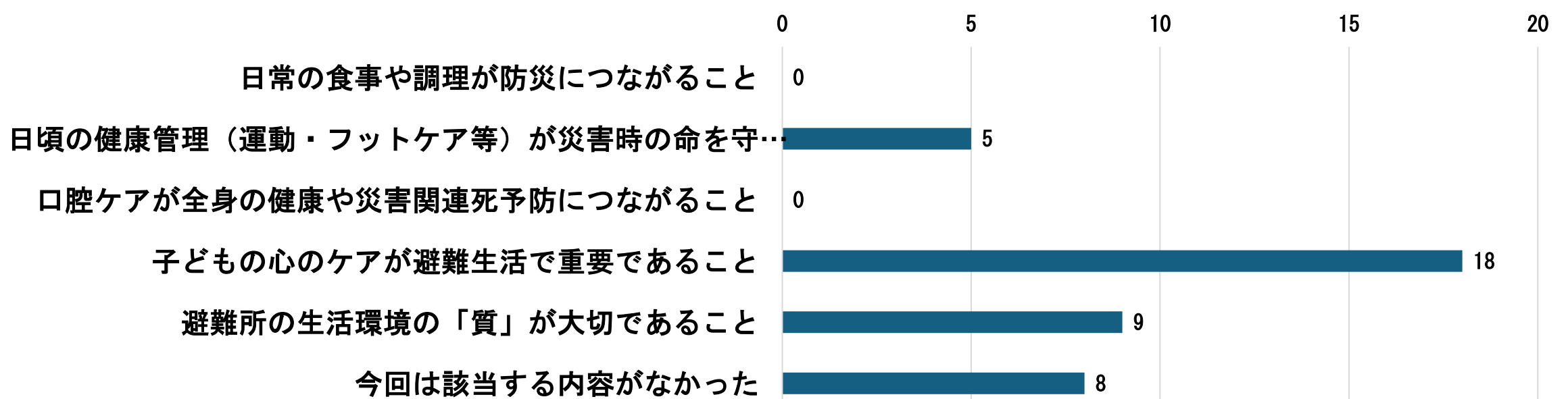


4. 講座を受講して、「防災」に対する考え方は変わりましたか。

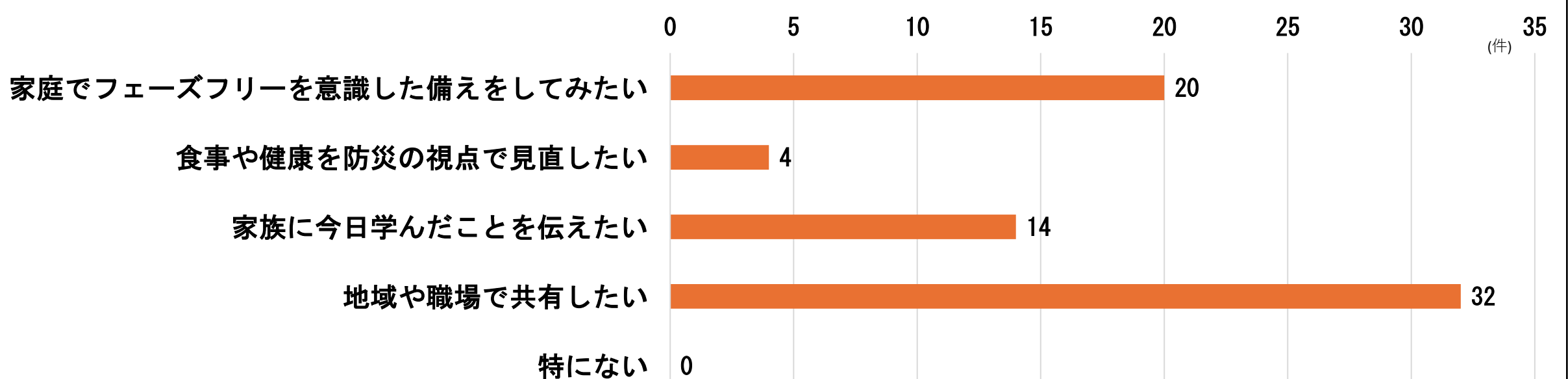


6. 今回参加された講座内容について、理解が深まったと感じるものを選んでください（複数選択可）。

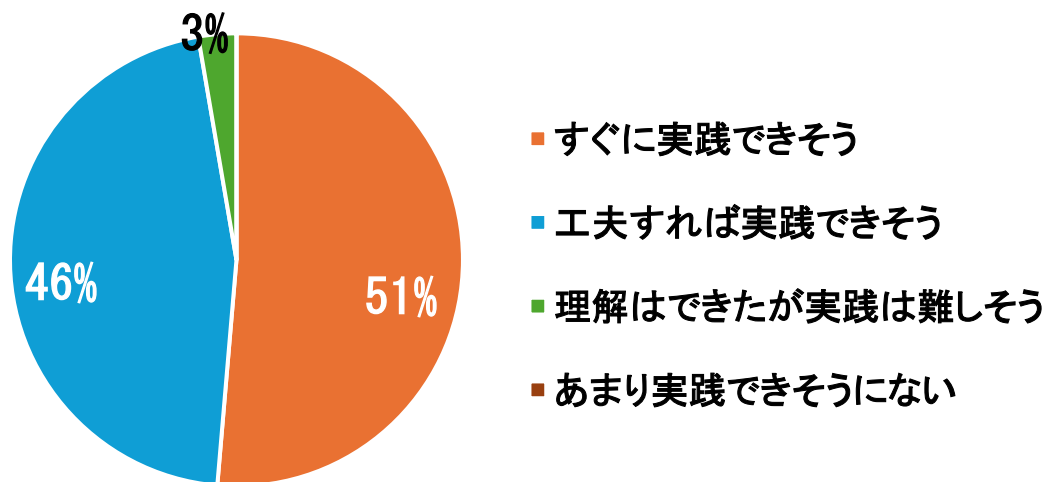
(件)



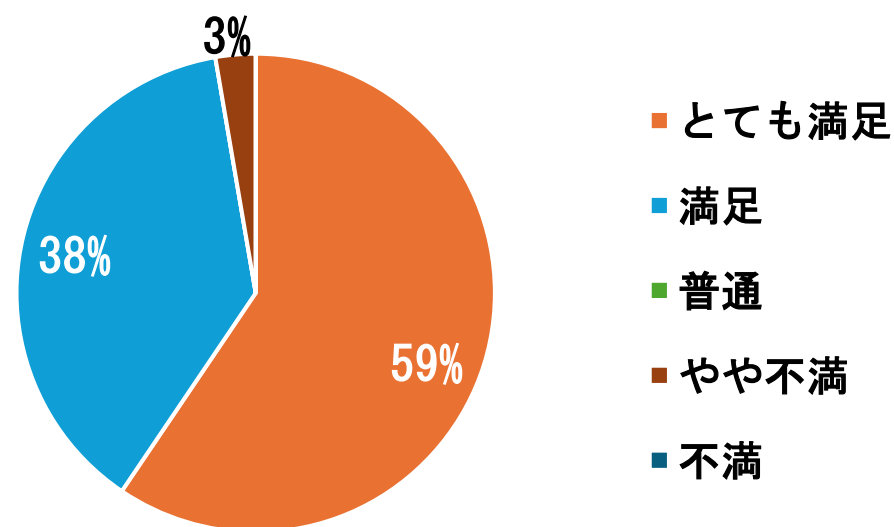
7. 講座を受けて、今後やってみたいと思うことはありますか（複数選択可）



5. 講座で学んだ内容は、日常生活の中で実践できそうだと感じましたか



8. 本日の公開講座の満足度を教えてください



9. 印象に残った内容や、今後の生活に活かしたいと思ったことがあれば教えてください。

- 自分の園に帰って、津波から身を守るために普段の遊びからできること、体力づくり等必要性を考えていきたい。
- 防災は「生き方」である。日頃から防災？生き方を意識していきたい。
- 防災は特別な教育ではない。遊びと言葉が子どもの生命と心を守る。日頃の保育を見つめ直していきたいと感じました。ありがとうございました。
- 子どもの成長の中で防災意識・訓練を日常化する。
- 子どもたちの普段の遊びに防災意識を取り込む私たちの意識の大切さ。
- 子どもの成長や生活環境と防災を結びつけて考えるようになった。
- 防災を成長支援の機会と考えるという内容→子供との接し方を変えたいと思った。N-netの存在→周囲に伝えたい。子どもに防災を伝えたい。子どもに防災を伝える意義。 など

10. 今後、参加してみたい防災に関するテーマがあれば教えてください。

- ハザードマップの活用方法
- (保育)避難後の判断基準
- 津波だけでなく、土砂災害。遊びの中での防災意識を高める取り組み。
- 揺れで被害を受けない為に揺れの同期、特にキラーパスについて知りたい。
- ARやVRを活用したリアリティのある防災活動。 など

第3部 アンケート分析結果

第3部では、子どもの成長や生活環境を含めた防災の視点が強く印象づけられた。自由記述からは、「子どもの成長や生活環境と防災を結びつけて考えるようになった」など、子どもと防災をどのように日常の中で育てていくかを考える意見が多く見られ、Childの視点を含めた防災意識の深化につながった。また、同調圧力に流されず自ら判断することの重要性について理解が進み、主体的な行動や共助の意識の醸成に寄与したと評価できる。